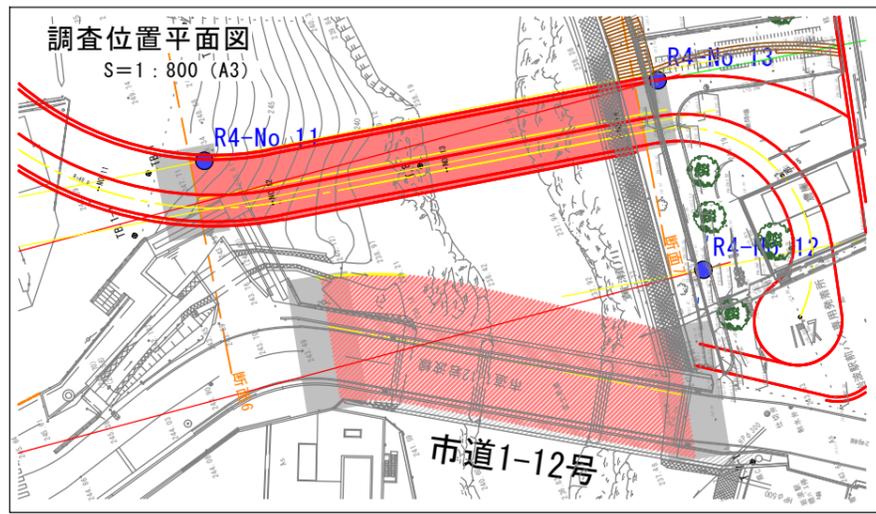
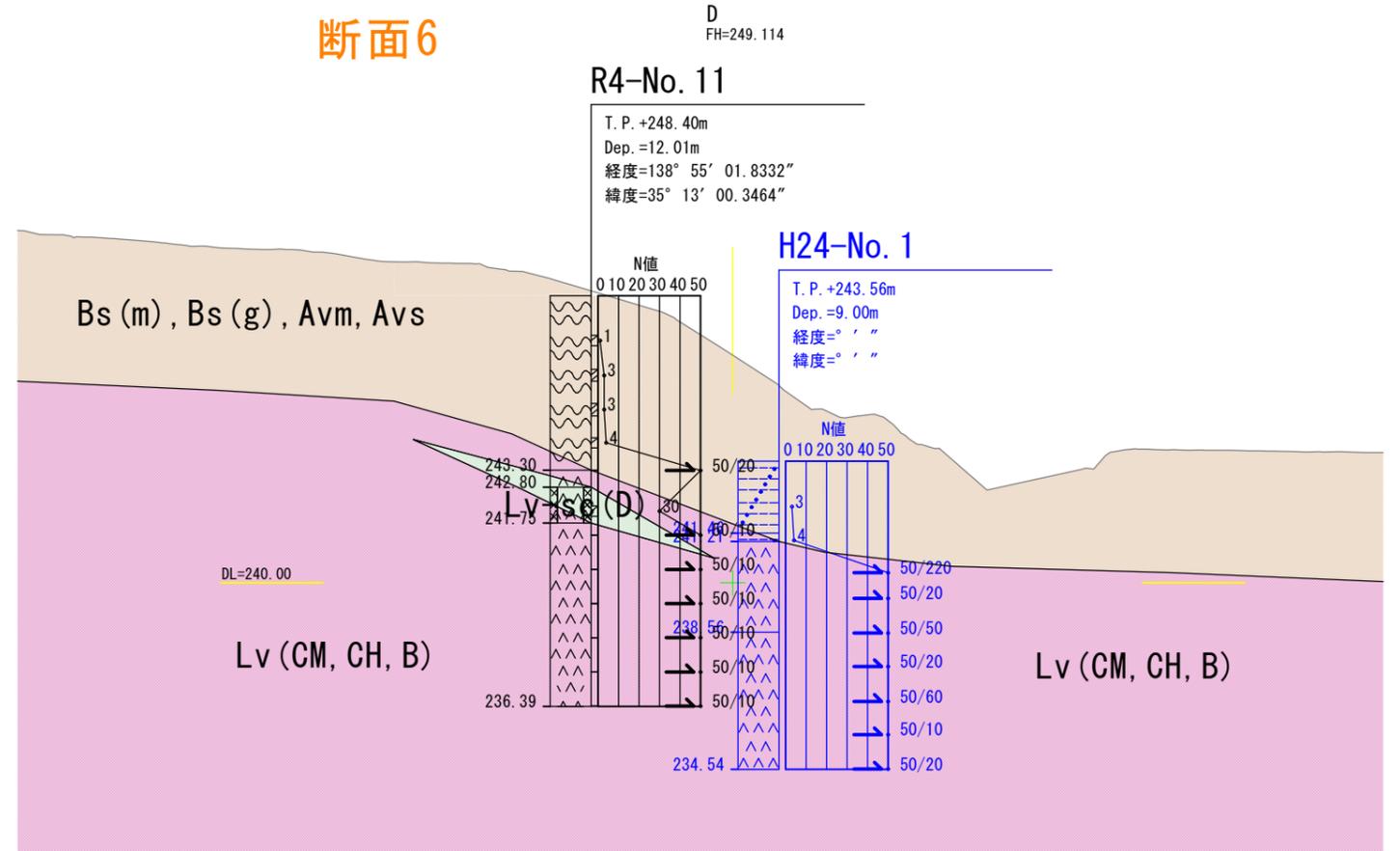


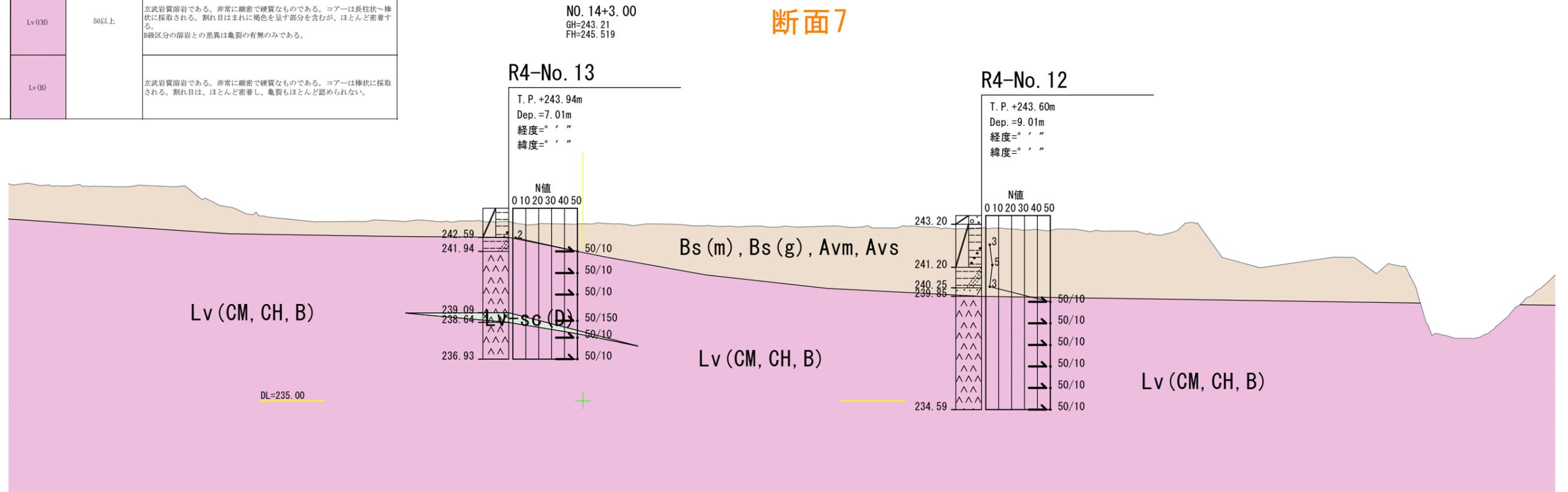
推定地質断面図 (黄瀬川橋梁区間)
 S=1:200 (A3)



断面6



断面7



地質時代	土層名	記号	N値(範囲)	地層の特徴
現世	盛土層	Bs (m)	2~6	裾野市バスロータリー内の道路盛土である。層中是不均質で人工物の混入が認められる。粘性土主体。
		Bs (g)	-	裾野市バスロータリー内の道路盛土である。層中是不均質で人工物の混入が認められる。礫質土主体。
第四紀	火山灰質粘性土層	Avm	0~4	黒ぼく質火山灰質粘性土といえる。不均質なものである。
	火山砂層	Avs	4	細砂~粗砂状の火山砂である。全体にサラサラとした感触を残す。
完新世	新富士火山溶岩流(旧期溶岩流)	Lv-sc (D)	30~50以上	自破砕状溶岩である。コアは礫状~岩片状に採取される。酸化・風化作用の影響を受ける。溶岩の形成過程において粘性が非常に強かったことが要因となり、冷え固まる前に次の溶岩流が堆積して破砕状を呈したことが考えられる。
		Lv (CM)	50以上	多孔質な玄武岩質溶岩である。コア自体は非常に硬質で、ハンマー打撃では容易に破砕できない。酸化・風化作用の影響を受ける。コアは岩片状~長柱状~棒状に採取される。本地層は亀裂というよりも、溶岩が固まるまでに空気や水に触れることが多かったため、気泡の大きいものが多い。
		Lv (CH)		玄武岩質溶岩である。非常に緻密で硬質なものである。コアは長柱状~棒状に採取される。割れ目はまれに褐色を呈す部分を含むが、ほとんど密着する。B線区分の溶岩との差異は亀裂の有無のみである。
		Lv (B)		玄武岩質溶岩である。非常に緻密で硬質なものである。コアは棒状に採取される。割れ目は、ほとんど密着し、亀裂もほとんど認められない。